小中一貫教育通信

バトン

第２号　令和５年２月発行
発行者　豊小学校　豊浜中学校
小中一貫教育研究推進連絡会

令和4年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

主体的・対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成
～ICT の効果的な活用を通した学習指導の工夫～

小中一貫合同授業研究会

10月13日（木）
豊浜中学校にて

10月13日（木），8年生を対象に石本先生，寺本先生，北谷龍樹さん（ゲストティーチャー）による総合的な学習の時間の合同授業研究が行われました。

8年生は，『今の自分にとって「働く」とはどういうことか』というテーマで1年間学習をしてきました。はじめは，「働く」ということに対するイメージを具体的に持つことができない生徒がほとんどでした。しかし，ゲストティーチャーの方のお話を聞いたり，職場体験で実際に働いてみたりしたことで，14人全員が「働く」ことについてしっかりと考え，自分なりの意見をもつことができました。

また，ICT 機器を効果的に活用したことで，自分自身の今までの学習での意見の変容や，周りの人の思いを手元で確認したいときにすることができました。それによって，今まで学んだことや周りの人の意見を踏まえた振り返りをすることができ，より深い学びにつなげることができました。

当日は，呉市教育委員会　学校教育課　小中一貫教育指導グループの主任指導主事　本谷彰弘様に授業を見ていただき，ご指導をうけました。

事後協議会では，「授業を通して生徒が主体的，探究的に自分の意見をもつことができていたか」「ICT機器を効果的に活用することができていたか」という観点で小中の教員で協議を行いました。

その中で，児童生徒発信で主体的に学んでいくことの大切さを教職員全員が再度認識することができ，生徒の問いを活かした授業を展開するためにはどうしたらよいか意見を出し合うことのできたよい研究会となりました。

職場体験活動や，職場体験の事前事後学習に協力していただいた地域の皆様，本当にありがとうございました。

新入生説明会

1月27日（金）
豊浜中学校にて

1月27日（金），豊浜中学校で新入生説明会が行われました。

6年生は，豊小学校からバスで豊浜中学校まで移動し，図書室で中学校生活について説明を聞いた後，豊浜駐在所の松永さんからSNSを使うときの注意点などについてお話をしていただきました。

説明会のあとには，採寸を行いました。採寸終了後，ソフトテニス部と陸上部の部活動体験があり，7年生や8年生に教えてもらいながら，一緒に体を動かしました。

6年生のみなさん，約1ヶ月後には中学生です。しっかり心の準備をしておきましょう！

乗り入れ授業

中学校の教職員が，小学生に対して授業を行う乗り入れ授業。今年度は，5･6年生を対象に行われました。

5･6年生は，授業の最初は緊張した様子でしたが，授業中盤になってくると少し緊張もほぐれ，楽しそうに学ぶ様子が印象的でした。

5･6年生が授業を受けた感想の中には「中学校でどのようなことを学ぶのか分かった。中学校に入学するまで覚えておきたい。」「理科では，中学校で実際に使う道具を使うことができて楽しかった」などがありました。

小学生が中学校の様子を知ることができ，中学校が小学生の様子を知ることができるよい機会となりました。

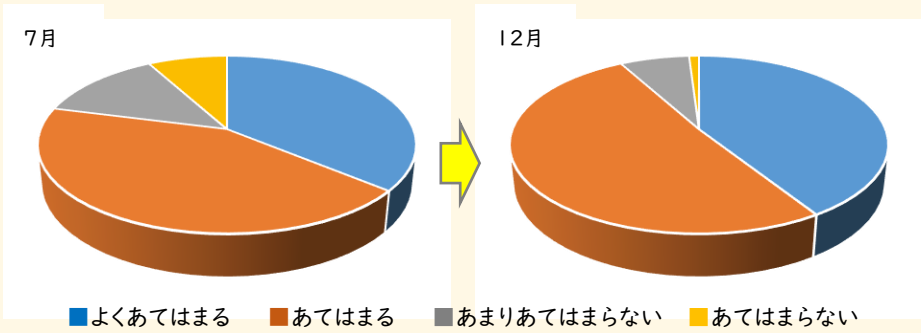
1分間スピーチ

豊浜中学校区では，今年度「1分間スピーチ」の取組を行っています。

今年度から公立高等学校の入試に「自己表現」というものが取り入れられました。「自己表現」は，**自分自身のことを認識することができているか，自分の将来を考え，選択し，自分の意志で決めることができているか，自分自身のことや自分の意見などを，相手に理解してもらえるように，相手や場面に応じて，言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができているか**という3つの観点で評価されます。

1年生の頃から，それらのことを意識しながら，「1分間スピーチ」を行うことで，自分自身の思いなどを自分の言葉で伝える練習をすることができます。これらの取組を続けていき，公立高等学校の入試の際に自己を表現する力が身に付いていることを目指します。

児童生徒のアンケート結果

「授業では，自分の考えと理由を明らかにして，相手に分かりやすく伝わるようにしています」

この取組を行ったことで授業中の意識も変化してきました!!